

地域の資源を活かし、育み、「水」「土」「里」の未来を拓く

# 秋田の山

あきたのとちかいりょう

# 土地改良



イメージキャラクター  
みどりちゃん

VOL. 539  
2026.3



撮影場所：菅原神社（秋田市） 撮影：水土里ネット秋田 政策・広報班

## 目次

### CONTENTS

- |                               |   |                                |    |
|-------------------------------|---|--------------------------------|----|
| 第68回通常総会                      | 2 | 第26回「あきたの美しく豊かな農村づくり」写真コンクール   | 10 |
| 令和8年度水土里ネット秋田・事業計画(重点項目)      | 4 | 秋田県内における女性リーダー確保等に向けた検討会       | 12 |
| 「令和7年度あきた水土里フォーラム」の開催         | 5 | 森林組合女性職員研修会への参加                | 12 |
| 秋田市土地改良区 合併により新たに発足           | 6 | 随想(仙北市黒倉堰土地改良区 職員 照島 斐音)       | 13 |
| 地域農業の新たな一歩～畑屋中央地区が竣工～         | 6 | 連合会日誌                          | 13 |
| 令和7年度土地改良区体制強化事業技術実践向上研修を開催   | 7 | 水土里レポーターによる写真投稿                |    |
| 令和7年度第2回秋田県農村振興技術連盟・スキルアップ研修会 | 7 | (秋田県能代地区土地改良区 事業課 事業係主事 松森 穂高) | 14 |
| 水土里ネット秋田女性理事インタビュー            | 8 | リレー感想文                         | 14 |
| 男鹿市土地改良区に女性理事2名が登用されました!      | 9 | 編集後記                           | 14 |

# ❧ 本会第68回通常総会を開催 ❧

令和8年3月16日(月)、本会第68回通常総会が秋田県社会福祉会館(秋田市)で開催され、会員86名(内、委任状38名)が出席しました。

開会にあたり松田会長が、「本県の農業生産基盤の状況は、『あきた型ほ場整備』の推進などにより、令和7年度末には水田の整備率が73.6%となり、1ha以上の区画の整備面積は22,600haを超える見込みである。また、ほ場整備と連携した高収益作物の産地づくりや担い手への農地集積も進み、持続可能で効率的な生産基盤の整備が着実に進んでいる。一方で、4年連続で大規模な豪雨災害に見舞われ、農地や農業用施設に甚大な被害が発生したほか、生産資材や燃料等の価格高騰の長期化、基幹的農業従事者の減少など、農業生産現場を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いている。



▲松田会長挨拶



▲来賓による祝辞

こうした中、国では食料・農業・農村基本法に基づき、令和7年度からの5年間を農業構造転換の集中対策期間と位置付け、具体的な施策を集中的に実施することとしている。本県においても、水田の大区画化や汎用化・畑地化を一層推進するとともに、ICTの活用による農業水利施設の維持管理の効率化・高度化を進めていく必要がある。本会では、国の新たな政策にも的確に対応しながら支援業務の一層の充実を図り、本県農業・農村の更なる発展と国内の食料安全保障の確保に貢献できるよう、役職員一同取り組んでいく」と挨拶を述べました。

引き続き、土地改良功労者表彰が行われ、1団体と個人14名が栄えある表彰を受けました。

その後、来賓として、鈴木健太秋田県知事(代読：大石勝農林水産部次長)、永井春信東北農政局長(代読：濱井和博東北農政局地方参事官)、進藤金日子参議院議員からご祝辞を頂戴しました。

議事では、山口義光理事長(飯田川土地改良区)を議長に選任し、令和6年度事業報告書・貸借対照表・一般会計収支決算書及び財産目録、令和7年度一般会計収支補正予算(理事会専決処分)、令和8年度事業計画ならびに一般会計収支予算等について審議が行われ、いずれも原案どおり承認・議決されました。令和8年度事業計画の重点項目として、(1)生産性の向上等に向けた効率的かつ安定的な基盤整備の推進、(2)農村地域の防災・減災対策に向けた支援、(3)土地改良区の体制強化と会員支援の充実、(4)農村の生活環境づくりと地域活動への支援、が位置づけられました。また、欠員役員の選任が行われ、楢本歩美氏が員外理事に選任されました。最後に舩谷専務理事による「決議文」が朗読され、満場一致で採択されております。

なお、土地改良功労者表彰者及び選任された役員は次の通りです。



▲受賞者

## 令和7年度秋田県土地改良功労者表彰（敬称略）

### 団体表彰

【銅章】 田代町土地改良区

### 個人表彰

小館 康弘（小坂町土地改良区理事長）

宮野 尚法（北秋田市土地改良区事務局長）

牧野 貴人（三種町浜口土地改良区事業係長）

須田 金男（由利本荘市矢島町土地改良区理事）

中森 一男（大仙市大曲土地改良区副理事長）

高橋 利光（秋田県雄物川筋土地改良区総括監事）

鈴木真理子（秋田県南旭川水系土地改良区主幹兼会計主任）

小林 大樹（大館市二井田真中土地改良区理事）

佐藤 義博（能代市東土地改良区理事）

佐々木仁茂（戸村土地改良区理事長）

大友 藤夫（由利本荘市土地改良区理事）

坂本由美子（秋田県仙北平野土地改良区事務局長）

佐藤 俊幸（秋田県南旭川水系土地改良区監事）

柄澤 正一（湯沢雄勝土地改良区財務会計課担当理事）

### 選任された新役員

理事：<sup>すぎもと</sup> 相本 歩美（学識経験者） 現職：国際教養大学国際教養学部 准教授



▲全体の様子



▲総会（山口議長）

## 〈決議文〉

### 記

- 一 地域の要望に応え、農業農村整備事業を計画的かつ円滑に実施するために必要な予算を安定的に確保すること
- 一 農業構造転換の推進に向けて、水田の大区画化、汎用化・畑地化やスマート農業等の先端技術に対応した生産基盤など、効率的で生産性が向上する基盤整備事業への支援を一層充実すること  
また、農地中間管理事業などにより、地域計画に基づく担い手への農地集積・集約化を引き続き推進すること
- 一 大規模自然災害からの復旧・復興を早急に進めるとともに、農業・農村の防災・減災力の強化に向けて、農業水利施設の豪雨・耐震化対策などの機能強化のための支援を一層充実すること  
併せて、農業水利施設の適時適切な補修・更新の実施とともに、ICTの導入等による維持管理の効率化・高度化を推進すること
- 一 土地改良区の組織運営体制の強化に向けて、男女共同参画への取り組みや統合整備を引き続き推進するとともに、水土里ビジョンの策定や農業農村の多面的機能の維持発揮に向けた取り組みへの支援を一層充実すること

令和8年3月16日

秋田県土地改良事業団体連合会 第68回通常総会  
（水土里ネット秋田）

# 水土里ネット秋田・事業計画（重点事項）について

水土里ネット秋田では、令和8年度事業計画を第68回通常総会（3/16開催）で承認いただきました。令和8年度の重点項目を次のとおりとし、会員、国、県及び関係団体との連携を強化しながら、着実に実施していくことにより、本県の農業・農村の持続的発展に貢献してまいります。

## 基本方針

近年、大規模自然災害の頻発化に加え、生産資材等の価格高騰の長期化や基幹的農業従事者の激減など、農業生産現場は厳しさを増しています。

こうした中において、本県が我が国の食料供給基地としての役割を担い、国民に安定的に食料を供給していくためには、効率的で生産性が向上する農業生産基盤を整備することが重要です。

このため、昨年9月に策定された新たな「土地改良長期計画」のもと、担い手への農地の集積・集約化、水田の大区画化など、スマート農業技術の導入に向けた基盤整備を一層推進する必要があるとあり、加えて、農業水利施設については、計画的な補修・更新により豪雨・耐震化対策を強化するとともに、ICT導入などによる戦略的な保全管理を推進していくことが必要です。

## 重点項目

1

### 生産性の向上等に向けた効率的かつ安定的な基盤整備の推進

- ・地域計画と連携した「あきた型ほ場整備」の一層の推進
- ・農業構造転換集中対策の柱のひとつである畦畔除去等の簡易整備による農地の大区画化等の推進
- ・AI（人工知能）の活用等による換地業務の効率化や所有者不明土地管理制度等の活用を支援

2

### 農村地域の防災・減災対策に向けた支援

- ・防災重点農業用ため池等の適切な維持管理とため池管理体制の強化に向けた支援
- ・災害応急用ポンプの活用による豪雨災害や渇水時の農地及び農業用施設の被害防止対策を支援
- ・水土里情報システムを活用したデータベース化等による農業水利施設の適切な保全管理を支援

3

### 土地改良区の体制強化と会員支援の充実

- ・土地改良区における水土里ビジョンの策定を支援
- ・土地改良区の運営基盤強化に向けた統合整備の支援と各種会員負担金の軽減
- ・多様な人材が活躍できる組織体制の実現に向けた土地改良区の男女共同参画の取り組みの支援

4

### 農村の生活環境づくりと地域活動への支援

- ・農業集落排水施設の機能強化と効率的で適切な維持管理に向けた支援
- ・多面的機能支払交付金制度による地域の共同活動について、適正な保全活動と活動組織の体制強化に向けた支援

# 「令和7年度あきた水土里フォーラム」が 開催されました

令和8年1月27日（火）、秋田市のパーティーギャラリーイヤタカにおいて「令和7年度あきた水土里フォーラム」が開催され、県内土地改良区及び県から約90名の役職員が参加しました。

主催者である本会松田会長の挨拶のあと、本会阿部副主幹による「期待される水土里ネットの役割について」、全国水土里ネット土地改良広報センター牧所長による「今後の水土里ネットのあるべき姿－人材・働く環境・組織力－」について講演が行われました。

パネルディスカッションでは「～未来を耕す女性のちから 農村から広がる新しい風～」をテーマに、パネリストとして、かづの土地改良区田口理事長、北秋田市土地改良区九島理事、秋田県仙北平野土地改良区坂本事務局長、本会松田会長が参加しました。また、全国水土里ネット牧所長をアドバイザーに迎え、秋田ファシリテーション事務所 まちづくりファシリテーターである平元氏のもと女性理事登用の価値や課題について活発な意見交換が行われました。



▲会場の様子



▲パネルディスカッション



▲松田会長



▲阿部副主幹



▲牧所長

本フォーラムにおいてアンケート調査を実施しましたが、その中で、“今後どのような講習会を開催してほしいか”との問いに対して下記のご意見・ご要望が寄せられました。

- 女性理事に特化したワークショップ（研修、講習会）
- 土地改良区の役割や事業内容の実際例を発表する講習会
- 理事全体の勉強会
- 交流会など意見交換の場を作ってほしい
- 定期的な研修
- マンネリ化しないような内容
- 地域ブロックでの開催
- 他地域での女性理事の活動状況
- 男性のみの研修会
- 人数制限なしの講習会 など。

貴重なご意見・ご要望は、今後の講習会等へ活かしていきたいと思っておりますので、引き続きご協力くださいますようお願いいたします。

## 秋田市土地改良区 合併により新たに発足

令和8年1月30日(金)、秋田地方総合庁舎にて秋田市内7土地改良区の新設合併認可書交付式が行われ、「秋田市土地改良区」が発足しました。

交付式では、関係者40名が出席し、旧仁井田堰土地改良区 鈴木理事長より「ここに至るまで様々なことがあったが、高齢化や担い手不足など、農業を取り巻く問題は今なお数多く存在しています。これからは、7つが一緒になり、地域農業の発展並びに振興のため、より一層一丸となり取り組んでいかなければなりません」と挨拶を述べました。

### 合併土地改良区

仁井田堰土地改良区、秋田市豊岩中央土地改良区、秋田市上北手小山田土地改良区、秋田市上北手猿田土地改良区、河辺土地改良区、河辺郡芝野堰土地改良区、左手子土地改良区

### 合併形態

新設合併

### 合併認可

令和8年1月30日

### 組合員数

2,496人

### 面積

2,248ha

### 所在地

秋田市四ツ小屋字城下当場253-1

### 連絡先

018-839-2504



▲認可書交付記念撮影



▲全体の様子

## 地域農業の新たな一歩 ～畑屋中央地区が竣工～

令和8年1月22日(木)、美郷町千畑土地改良区管内の畑屋中央地区 農地集積加速化基盤整備事業の竣工式および祝賀会が開催され、式には美郷町長 松田知己様、大仙市長 老松博行様をはじめ、多くの来賓及び関係者が出席しました。

式典は神事が行われたのち、畑屋中央地区ほ場整備事業推進協議会長 奥山秀治 様の式辞に続き、秋田県仙北地域振興局長 草薨郁雄 様の祝辞、同振興局農村整備課長 安部研一郎 様による事業経過報告が行われました。感謝状贈呈では、はりま建設株式会社代表取締役社長 武田卓哉 様が代表して受領し、その後、美郷町長 松田知己 様、秋田県議会議員 加藤麻里 様より祝辞が述べられ、事業の完成をともに慶びました。

畑屋中央地区は、美郷町と大仙市にまたがり、本事業により従来10aであった区画は1haへと大区画化されました。あわせて、営農の支障となっていた湧水処理対策も講じられ、効率的かつ安定的な営農が可能となる生産基盤が整備されました。また、5法人(うち新設3法人)および個人担い手2名に地区内農地の90%以上が集積され、スマート田んぼダムへの取り組みや園芸メガ団地の造成も進められている。稲作中心であった地域は、複合型農業経営へと着実に歩みを進めています。

本事業は平成29年度に着手し、令和6年度をもって完了を迎えた。今後の地域農業のさらなる発展が大いに期待されます。

### 〈 事業概要 〉

- ・ **事業名** 農地集積加速化基盤整備事業
- ・ **工期** 平成29年度～令和6年度
- ・ **受益面積** 273.7ha
- ・ **主要工事** 整地工273.7ha、暗渠排水工273.7ha  
道路工35.9km、用水路工51.4km  
排水路工49.1km



▲神事の様子



▲奥山協議会長あいさつ

# 令和7年度土地改良区体制強化事業技術実践向上研修を開催

令和8年2月4日(水)、秋田市にある中央地区老人福祉総合エリア多目的ホールにおいて、令和7年度土地改良区体制強化事業技術実践向上研修が開催され、市町村および土地改良区、土地連職員など約70名が参加しました。

本研修会は、農業農村整備事業の円滑な実施を図ることや、市町村・土地改良区の役職員等の技術力向上を目的として毎年度実施されているものです。

研修では、東北農政局農村振興部設計課課長の三阪史也氏より「最近の土地改良事業をめぐる情勢について」と題し、土地改良法改正や土地改良長期計画のポイント、最近の土地改良事業をめぐる政策の動向、水土里ビジョンの実践に向けた取り組みなどについてご講演いただきました。また、ホクヨウ農産株式会社藤嶋健一代表取締役からは、「ほ場整備『高野尻地区』でのスマート農業の活用状況について」と題し、乾田直播やICTほ場管理システム、ターン農道など地区内の活用状況をご報告いただきました。

土地連からは、管理情報部施設保全班の保坂技師と大石技師が「農業水利施設の維持管理について」と題して発表したほか、同技術・調整班の大山主任が「ドローン導入の手引きと運用例」と題して、それぞれの取り組みについて発表を行いました。

## － プログラム －

○主催者挨拶 水土里ネット秋田 技監(兼)農地整備部長 福司 健治

○講演 「最近の土地改良事業をめぐる情勢について」  
東北農政局 農村振興部 設計課 課長 三阪 史也 氏

「ほ場整備『高野尻地区』におけるスマート農業の活用状況について」  
ホクヨウ農産株式会社 代表取締役 藤嶋 健一 氏

「農業水利施設の維持管理について」  
水土里ネット秋田 管理情報部 施設保全班 技師 保坂 幸祐  
技師 大石 京太郎

「ドローン導入の手引きと運用例～法令・機種選定・登録方法について～」  
水土里ネット秋田 管理情報部 技術・調整班 主任 大山 雄平



福司技監



三阪課長



藤嶋代表取締役

令和7年度

## 第2回秋田県農村振興技術連盟・スキルアップ研修会

令和8年2月9日(月)、秋田県庁第二庁舎にて、令和7年度第2回秋田県農村振興技術連盟・スキルアップ研修会が開催されました。県内各地からNN関係者約200名が参加しました。



▲大石委員長の開会挨拶

秋田県農村振興技術連盟の大石委員長(秋田県農林水産部次長)による開会挨拶に始まり、基調講演として東北農政局の荻野次長より、農山村(中山間)の振興についてご講演いただきました。

その後の発表会では、施工技術総合研究所の永沢氏、秋田県農林水産部農山村振興課の田中リーダー、秋田県農林水産部農地整備課の伊藤副主幹、水土里ネット秋田農地整備部換地1班の畠山主任より、それぞれのテーマについて発表が行われました。

最後に、秋田県農村振興技術連盟の石井副委員長(秋田県農林水産部農山村振興課長)より閉会の挨拶があり、研修会は無事に終了しました。



▲会場の様子

### 《講演・発表テーマ》

【基調講演】 「農山村(中山間)の振興に向けた新たな視点について」

東北農政局次長 荻野憲一 氏

【発表】

●「農業農村整備事業におけるICT活用の実証結果」 施工技術総合研究所 永沢 薫 氏

●「今後の農村振興の展望について」

秋田県農林水産部農山村振興課調整地域・活性化チームリーダー 田中明徳 氏

●「田んぼダムの普及拡大について」

秋田県農林水産部農地整備課農地整備チーム副主幹 伊藤清貴 氏

●「ヒューマンエラー0へ～AIを駆使した換地業務効率化～」

水土里ネット秋田農地整備部換地1班主任 畠山祐太 氏



▲畠山主任の発表

# 水土里ネット秋田女性理事インタビュー



令和7年4月1日より水土里ネット秋田において理事に就任した遠藤 由美 理事 に、就任から1年間の理事としての活動を振り返っていただきインタビューを行いました。

**Q.1** 昨年3月の総会において理事にご就任されましたが、その際のお気持ちや抱負についてお聞かせください。

**A1.** お声を掛けていただいたときは、「私にできることがあるのだろうか」と率直に思い、しばらく悩みましたが、土地連の元職員として、組織のことを少しは知っている立場でもありますので、その経験がどこかでお役に立てるかもしれないと思い、お引き受けすることにいたしました。少しでも力になればという思いで、日々向き合っております。

**Q.2** 理事として活動されたこの1年を振り返り、特に印象に残っていることや、ご自身として手応えを感じられた点がございましたらお聞かせください。

**A2.** 今年度は理事会への出席や全国土地改良大会への参加などが主な活動でしたが、最初の頃は理事会の雰囲気慣れることに精一杯で、まさに「借りてきた猫」のような気持ちでした。全国土地改良大会には、平成20年に事務局として関わったことはありましたが、参加者として出席するのは初めてでした。全国の皆様の熱意を改めて感じ、その思いに触れたことがとても印象に残っています。私もその気持ちを大切にしながら理事として関わっていきたいと思いました。

また、土地連事務所で作成した「農の生け花」（農作物や身近な植物を使い、農や自然を表現したもの）では、女性職員の皆さんと意見を交わしながら一つの作品を作り上げることができ、コミュニケーションを深められたことも印象的です。

こうした活動を通じて、理事としての役割だけではなく、職員の皆さんとの繋がりや組織の一体感も実感できた一年でした。



▲「農の生け花」作成中

**Q.3** 女性理事として理事会に参画される中で、感じられたことや、新たな視点として大切にされていることがあればお聞かせください。

**A3.** 現在は女性が私一人ということもあり、少し緊張する場面もありますが、温かく受け入れていただいていると感じています。

今後、女性理事が増えていけば、女性ならではの視点や日頃感じていることなども、より自然に共有できるのではないかと考えています。そのような環境が広がっていくことを期待しています。

**Q.4** 女性理事の登用が進む中で、理事会や組織運営にどのような変化や効果があったとお感じでしょうか。



▲通常総会での様子

**A4.** まだ就任して1年足らずで、大きな変化を実感するところまでは至っていないのが正直なところですが、ただ、こうして新しい一歩が踏み出せたことには意味があるのではないかと考えています。私自身もできることから少しずつ関わっていければと考えています。

**Q.5** 今後、女性理事のさらなる登用が期待される中で、土地連、土地改良区でこれから就任される方々へメッセージをお願いいたします。

**A5.** 土地連や土地改良区は、地域農業を下支えする重要な組織です。様々な立場や経験を持つ人が関わることで、組織の発展に大きな力になると思います。より多くの方々が、積極的に参画し、それぞれの立場や経験を生かして活躍されることを期待しています。私自身も学びながら、一歩ずつ役割を果たしていきたいと思っています。

# 男鹿市土地改良区に 女性理事2名が登用されました！



男鹿市土地改良区に令和6年7月から女性の員外理事2名が登用され、インタビューをさせていただきました。

## 男鹿市土地改良区

■住所	男鹿市角間崎字家ノ下462-6
■面積	2,150ha
■組合員	1,031人
■理事	18人（うち女性2人）
■監事	3人



左から武藤理事、中田理事長、真壁理事、和田事務局長



### むとう としこ 武藤 富志子さん

高校卒業後、約40年間県庁職員として勤務。  
総務、福祉、農業、土木関係の16の課と地方事務所に在籍。  
令和6年7月より男鹿市土地改良区理事に就任。



### まかべ りょうこ 真壁 良子さん

若美土地改良区で職員として平成28年まで勤務。  
令和6年7月より男鹿市土地改良区理事に就任。

Q.1

## 土地改良区について今までどのようなイメージを持っていましたか。

武藤理事： 農地整備課に在籍していた際、換地に不満を抱く農家さんが隣の係に怒鳴りこんで来るのが何度かありました。門外漢の私は、その度に農家さんの切実な訴えに共感し、心の中で最大級のエールを送っていました。

しかし今、土地改良区で行われている会合が、農家間の公平性に配慮しながら進められているのを見て、あの時のエールは正しかったのかと、自ら換地を経験・検証していないこともあり、まだ答えを出せずにいます。

真壁理事： 私が土地改良区で働いていた頃と比べると、考え方や農地法に関して、色々変わってきているなという印象です。

そのため、私の考えが間違っているところも多少あるのではないかと思います。理事となった以上は、土地改良区の運営等に力を尽くしていきたいです。

Q.2

## 土地改良区の理事になってほしいと依頼があった際の率直なお気持ちをお聞かせ下さい。

武藤理事： 本来は地元の農業従事者が担うべきと考えていましたが、「第三者委員会」や「外部の意見」の重要性が高まっていることから、自分もその立場に関わろうと思ひ引き受けました。

また、男女共同参画の観点から女性登用率向上にも少しでも貢献したいという思いで就任を決めました。

真壁理事： 職員として土地改良区の業務内容は理解していましたが、理事として十分に役割を果たせるか、また、男性理事が多い中で女性の意見が受け入れられるか不安がありました。

しかし、実際に理事会に出てみると発言しやすい雰囲気があり、非農家の立場だからこそ地域や農家の声を丁寧に聞き取り、理事としての役割を果たしていきたいと思っています。



Q.3

## これから理事としての抱負や決意などをお聞かせください。

武藤理事： 第三者の立場だからこそ気づける点を大切に、まずは会議等での会話の中から課題を見つけ、整理してから時機を見て発言したいと思っています。

今後も真壁理事と励まし合いながら事業に取り組んでいきたいと思っています。

真壁理事： 職員との交流をより深く、話しやすい関係を築いていながら、農家の声を丁寧に聞き取っていききたいと思っています。そのうえで、農家の負担となる賦課金単価を上げることなく、土地改良事業が出来るよう、補助事業の活用なども含め、模索して行きたいと思っています。

### 中田理事長よりひと言



理事就任時より、耕作放棄地検討委員会を立ち上げ、担当理事として担当職員と共に、関係機関へ積極的に働きかけることで、耕作放棄地の解消と賦課金未納の解消に大きく貢献してもらっています。

さらに、女性活躍研修や各種大会にも積極的に参加し、明るく分け隔てなく積極的に取り組んでくれています。

### 和田事務局長よりひと言



女性職員が多い職場のため大きな環境の変化はありませんでしたが、女性理事が加わったことで理事会の雰囲気は変化しました。

これまでと異なる視点の質問が出るようになり、事務局側が慣れで見逃していた点に気付かされ、初心に立ち、振り返る機会となっています。

# 「あきたの美しく豊かな農村づくり」 写真コンクール

令和8年2月25日(水)、土地連「第1会議室」において第26回「あきたの美しく豊かな農村づくり」写真コンクールの審査会が行われ、今年度ご応募いただいた157点の中から入賞作品21点が選ばれました。入賞作品については、本会ホームページの「写真コンクール」サイトで紹介しており、右記QRコードからもアクセスできますのでご覧ください。



## 【審査員】

- 審査員長 中村 章 氏 (全日本写真連盟秋田県本部委員長)  
 審査員 佐藤 亮真 氏 (秋田魁新報社統合編集本部写真映像グループ記者)  
 審査員 藤原 絹子 氏 (秋田花まるっグリーン・ツーリズム推進協議会事務局長)  
 審査員 相場 詩織 氏 (フリーアナウンサー)

### 中村審査員長

「今年の写真は例年にも増して、バラエティに富んだ良い作品が多かったように感じます。特に人が対話している写真や動物の写真などあり、面白いなと感じました。来年も今年以上に良い作品が集まることを期待しています」

### 佐藤審査員

「昨年度、審査・講評させていただいた際に話した想いが伝わったのか、今年は人物を被写体にした写真が増え、表情は評価しやすい一方で、『美しい風景とは何か』を改めて考えさせられる審査会となりました。写真は、撮りたい物を詰め込み過ぎず、撮影者の目的やメッセージが明確に伝わるのが大切だと感じ、自然な表情を引き出す工夫も含め、私自身も人物、風景写真共に今後も探求していきたいと思いました」

### 藤原審査員

「日頃、私もホームページを管理しながら、様々な写真に触れる機会が多くありますが、プリントされた作品ならではの魅力を改めて感じました。コロナ禍以降、マスクを外した写真が多く応募され、撮る人の楽しさが伝わってくる写真が増えたことを嬉しく思います。今回は26回目の開催とのことでしたが、是非30回目に向け、さらに発展していくことを期待しております」

### 相場審査員

「今年も写真を通して秋田の魅力や大切な思い出を再確認する貴重な機会となりました。AIの時代だからこそ、構図や美しさだけでなく、いかに『心動かされるか』を大切に審査させていただきました。秋田の風景や笑顔を残したいという願いが込められた写真を見抜いていけるよう、私も日々、心豊かに過ごしていきたいと感じました」





### 夕暮時のエンジン音

秋山 幸子 【撮影場所】由利本荘市

(撮影コメント) 日没間近となっても田植えの準備だろうか、トラクターが稼働しており、あと少しやろうという心意気を感じたから。



### 仲良し夫婦

菊地 一男 【撮影場所】横手市

(撮影コメント) 稲を束ねる「繋ぎ」を結んでいるシーン。夫婦が笑顔で作業しており、微笑ましかったから。



### 秋色キャンバス

安保 邦夫 【撮影場所】山本郡藤里町

(撮影コメント) 実りの頃に訪れた横倉で出会った絵画のような風景を見てほしかったから。



### 田仕事

@ tadahirokumagai 【撮影場所】由利本荘市

(撮影コメント) 満開の桜と田仕事の人がちょうど良いタイミングで撮影できたから。

## 秋田県内における女性リーダー確保等に向けた検討会

令和8年1月19日(月)、メトロポリタン秋田「ジュエル」にて秋田県内における女性リーダーの確保等に向けた検討会が開催されました。本検討会は秋田県農業委員会女性協議会主催により、JAあきた女性組織協議会、秋田県農業士連絡協議会、あきた水土里ネット女性の会の4つの組織が一堂に会して行われました。本女性の会からは、事務局を含め23名が参加しました。

開催にあたり、主催者である秋田県農業委員会女性協議会 会長 加藤エリ子氏のあいさつに続き、来賓として秋田県農林水産部 部長 藤村幸司朗氏よりごあいさつをいただきました。

その後、各組織の紹介を行い、情報提供として「農業における女性の活躍推進について」と題し、一般社団法人秋田県農業会議 主任 齋藤知美氏より説明がありました。

意見交換会では、加藤エリ子氏を議長とし、各組織に質問を投げかけながら、活発な意見交換が行われました。女性理事の登用が進まない要因として、農業分野における男性中心の構造が依然として根強いこと、また女性が前に出て活動していくためには、女性自身が自信を持つことの重要性などが挙げられました。

今回の検討会を通じ、登用された女性一人ひとりがいきいきと活動できる環境づくりや支援体制の充実を図る必要性を改めて感じました。他組織の取り組み状況を共有いただき、大変有意義な時間となりました。



▲加藤エリ子氏による主催者挨拶



▲藤村幸司朗氏による来賓挨拶



▲会場の様子

## 森林組合女性職員研修会への参加

令和8年2月5日(木)、秋田県森林組合連合会が主催する研修会に、かづの土地改良区 根本由紀子事務局長(あきた水土里ネット女性の会会長)が講師として招かれました。研修会には、県内森林組合、全国森林組合連合会、秋田県林業木材産業課が参加し、講習やグループワークを通じて、個々のスキルアップやネットワーク強化を図ることを目的に、今回初めて開催されました。

根本事務局長からは「女性がイキイキと活躍できる職場・地域」と題し、土地改良区での経験談やあきた水土里ネット女性の会での活動を紹介し、女性の活躍が職場環境の改善だけでなく、地域の活性化にも繋がることについて自身の学びを交えて話しをしました。続いて、全国森林組合連合会 香田晃代課長より「琴の音ネットワークの活動について」と題した講演があり、その後、グループワークが行われました。

今回、初めて森林組合の女性職員の方々と交流することができ、職種は異なっても抱えている悩みや課題には共通点が多いことを実感しました。今後とも本研修会で得られた繋がりを大切に、分野を超えた交流を深めていきたいです。



▲根本事務局長発表の様子



▲参加者との集合写真

誕生日

仙北市黒倉堰土地改良区

職員 照島 斐音



私には息子がおり、先日4歳の誕生日を迎え、我が家では誕生日会をしました。誕生日といえば、プレゼントとケーキです。

プレゼントは、息子ご要望の「新幹線変形ロボシンカリオン」それも本体とは別にビークルというものがあり、そのビークルと新幹線こまちが合体し変形するロボットのおもちゃでした。昔は空の箱でも喜んで遊んでいたのに、今では箱の中身の方が重要のように自分の気持ちが言えるようになり成長したなと嬉しくもあり、親の懐事情としては悲しい成長を感じました。



ケーキも最近夢中になっているゲーム「スプラトゥーン」のキャラクターのカッコイイデザインで、大好きなイチゴに乗った生クリームケーキを「つくりたい」という事でしたが、私には簡単にできるものではないので、お店で購入しました。希望通りで、大喜びで美味しそうに食べる姿を見て、準備した甲斐があったなと嬉しく感じました。

プレゼントをもらい、ケーキを食べて喜んでいる息子の姿を見て、私が小さかった頃の両親もこのような気持ちだったのだろうかと思いを馳せ、息子のこれからの成長を祈ると同時に、両親へ感謝の気持ちを改めて感じました。



連 合 会 日 誌

2月20日	都道府県土地改良事業団体連合会・会員土地改良区事務責任者会議	オンライン会議
2月25日	第26回「あきたの美しく豊かな農村づくり」写真コンクール審査会	本会「第1会議室」
3月11日	横手地区農地集積加速化基盤整備事業竣工式並びに竣工祝賀会	横手市「松興会館」
3月16日	本会第68回通常総会	秋田市「秋田県社会福祉会館」
3月25日	全土連通常総会及び全国水土里ネット表彰式	東京都「シェーンバッハ・サポー」

..... 今後の行事予定 .....

4月1日	人事異動通知書交付	本会「会長室」
------	-----------	---------



## 思い出の場所、小友沼の渡り鳥

水土里レポーター：秋田県能代地区土地改良区 事業課 事業係主事 松森 穂高

能代市には、小友沼というため池があります。1618年から1675年の58年間という長い歳月をかけて造成された灌漑用のため池です。この小友沼には毎年春と秋に、たくさんの渡り鳥が飛来します。私も小さい頃よく渡り鳥を見に連れて行ってもらいました。能代にきた際には、ぜひ見に来てください。



### リレー vol.44 感想文



いつも素敵な情報に感銘を受けております。自分が知らないことを知ることができ学ぶことがとても多いです。これからも県内の土地改良に関わる最新情報を把握するために役立てていきたいと思っております。

農地整備部 農地整備班  
菅原 豪大

### 編集 後記

早いもので、今年度も間もなく終わろうとしています。

この時期は、卒業や入学、新社会人の方は新生活への準備など何かと忙しいのではないのでしょうか。

我が家はもう昔の話ですが、2年連続でしたので慌ただしくもありつつ、今思えば子供達が家を離れていくことへの寂しい気持ちのほうが強かったような……。(>\_<)

親御さんは嘸かし心配のことと思いますが、「成長のひとつ」として温かく見守ってあげてください。

さて、新年度も皆様から様々な情報を提供していただき、楽しい話題、役立つ情報を発信してまいりますので、引き続きよろしくお祈りします。

少しずつ春に近づいていますが、季節の変わり目ですので会員の皆様におかれましては、どうぞご自愛下さい。

(政策・広報班 鎌田)

